

2019年度 事業者向け 放課後等デイサービス 自己評価表(あかとんぼ飯野)

回収数/配布数: 12/12

回収率: 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%			利用人数の多いときにはスペースが十分でないと感じることがあるので、公園や散歩等の活動を取り入れて対応しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	83%	17%		基準は満たしていますが、学校ごとの下校時間によって配置に変動があるため、こまめに職員間で声を掛け合い連携しながら安全を確保しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	25%	33%	42%	民家を借りての活動のため、段差や階段があります。階段に手すりを付けたり、活動しやすい環境作りを努めています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	92%	8%		会議の進め方が変わり、以前より多くの職員が業務改善への意見を出せる環境になりました。優先順位をつけながら、改善を進めていけるように努めます。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			毎年アンケートを実施しています。保護者の方の意向等を把握した上で検討をすすめ、2020年4月から毎週土曜日開所することになりました。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	100%			ホームページ上で公表しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			100%	外部評価は行っていないですが、法人内部の自主監査を受け、必要に応じて業務改善につなげています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	92%	8%		事業所としては月に1回開催しています。その他にも、虐待防止委員会や研修ごとに担当を設置しています。外部研修の情報も共有し、各々参加してスキルアップを目指しています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			日頃から子どもたちの様子を共有しながら、丁寧なアセスメントを心がけ、現状を把握・分析した上で計画に反映できるよう努めています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	92%	8%		統一のアセスメントシートを使用・活用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	92%	8%		会議の中で職員から意見をもらいながら、チームとして立案に努めています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	92%	8%		職員からの新しい意見を取り入れ、季節などに応じて柔軟な対応ができるように努めています。

適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	83%	17%		日によって状況が異なるため、より明確なものを打ち出せるように事前準備を充実させていきます。
	14	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	92%		8%	計画の中で明確に位置づけされていないケースもありますが、日々の利用者の状況に合わせて個別・集団を意識して活動しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	75%	25%		支援前ミーティングを行い、流れや担当・特記事項等を共有しています。送迎時間が早い日にはミーティングを行えない場合もあるため、改善に努めます。
	16	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	67%	25%	8%	退勤時間がまちまちのため全職員が集まる形ではありませんが、業務日誌の活用や翌日に話し合いを行うことで、利用者の気になる言動や個々の気づき等を共有できるよう工夫しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	92%	8%		正しく記録をとり、支援に繋がっています。ですが、個々に差があるため、統一して支援の改善・検討に繋げていけるよう努めます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			モニタリングは半年に一度実施しています。計画変更の必要性の有無等、時間をかけて丁寧に行うようになっています。
関係機関や保護者	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	83%	17%		ガイドラインの理解に差があり、日によってもバラつきがあります。会議・研修等でガイドラインの理解を深め、支援の幅を広げていきます。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にそのこどもの状況に精通したもつともふさわしい者が参画しているか	100%			状況に応じて、児童発達支援管理責任者・担当者などが参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%			引き渡し時や電話で双方から連絡を取り合い、連絡調整しています。
	22	医療的ケアが必要なこどもを受け入れる場合は、こどもの主治医等と連絡体制を整えているか	100%			現在該当者はいませんが、受け入れの際には体制を整えられるよう検討します。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		100%		全員分は行っていないのが課題です。連携の強化に努めていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			100%	該当する機会があればそのように対応していきたいと思えます。相談支援事業所との連携は密になってきています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%			児童発達支援センターと連携をとり、定期的に研修に参加するようになっています。今後より良い連携方法を検討していきます。

との連携	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	8%	42%	50%	当事業所の保護者は、障がいのないお子さんとの交流をお望みでない方もいらっしゃいます。このことも踏まえたうえで、どのような機会を設けていくか検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100%			担当者を決め定期的に参加し、その場で得られた情報は職員間で共有できるようにしています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			日頃からこまめに共有するようにしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	50%	33%	17%	事業所だけでは対応が難しい場合は、学校と連絡を取り合い共有しています。専門性を向上させることで保護者への対応力も向上できるよう、学びを深めていきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			基本的には契約時に細かく説明するようにしています。その他必要に応じその都度丁寧に対応しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	75%	25%		常に傾聴の姿勢で保護者が相談しやすい雰囲気をつくっています。十分な助言に至らないこともあるので、職員のスキルを向上させていけるよう努めます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	83%	17%		2019年度に保護者会を開催しました。保護者のニーズを聞き取りながら、今後更により良い機会を設けられるよう努めていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			体制は整備されており、ご意見を真摯に受け止めています。安心してご利用頂けるよう、丁寧な対応を心がけていきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			事業所内広報誌の発行やブログの更新を定期的に行っています。
	35	個人情報に十分に注意しているか	100%			個人情報の取り扱いには十分注意し対応しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			個々に合わせたツールを用いるよう心掛けています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	42%	33%	25%	近隣住人から野菜やお菓子を頂いたり、一緒に道路の雪かきを行う等、良好な関係が築けています。事業所の行事への招待は難しいのですが、風の村さくら秋祭り等に参加し、地域住民のみなさまと少しでも関わられるようにしています。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%			毎年お手紙を配布しています。状況に合わせてマニュアルを見直し、より整備されたものを策定できるように努めています。

非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			火災・地震時の避難訓練は年2回、防犯訓練は年1回実施しています。過去の訓練時の様子も踏まえ、内容や利用者へのアプローチを検討しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			虐待防止委員を選出し、委員が中心となり定期的に研修する機会を設けています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			やむを得ず身体拘束を行う可能性のある場合には、事前に十分な説明・同意を得た上で行えるよう体制は整えています。現時点で計画書に記載するケースはありません。
	42	発作・アレルギーのある子どもを受け入れる場合は、医師の指示等に基づく対応がなされているか	100%			アレルギーに関しては現在該当者はありません。発作・食事制限がある方に関しては、都度本人や保護者に確認をとって対応しています。
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有しているか	100%			報告書を全職員で閲覧するとともに、会議の場で必ず共有し、次に活かせるようにしています。

2019年度 事業者向け 放課後等デイサービス 自己評価表(あかとんぼ佐倉)

回収数/配布数: 12/12

回収率: 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	25%	67%	8%	活動内容や状況により、手狭に感じることがありますが、中庭や近隣スペース等の活用を積極的に行うことで一人ひとりがのびのび過ごせるよう配慮しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	75%	25%		基準より多く配置していますが、活動内容によっては配置が十分でないと感じることもあります。職員間の情報共有・連携を大切にしながら対応しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	75%	25%		建物全体がバリアフリーになっています。トイレは車イスの方でも入れる広さで手すりも設置されています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	42%	58%		多くの職員が積極的に業務改善への意見を出せる環境になってきています。引き続き、優先順位をつけながら、改善を進めていけるように努めます。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			毎年アンケートを実施しています。保護者の方の意向等を把握した上で検討をすすめ、2020年4月から毎週土曜日開所することにしました。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	100%			法人ホームページ上にて公表しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		100%		外部評価は実施していませんが、法人内同事業の事業所による点検を受け、指摘事項については改善しています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			事業所内研修は月に1回開催しています。今後はより専門性を高めていく為、外部研修の情報を共有し受講しやすい環境を整えるとともに事業所内研修の内容も見直していきます。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			丁寧なアセスメントを心がけ、現状を把握・分析した上で計画に反映できるよう努めています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	75%	25%		標準化されたアセスメントシートを使用していますが、ツールを活かしきれていないケースもあるので今後の課題として取り組んでいきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	83%	17%		日頃から職員間で意見を出し合い、様々な視点を持ちながら可能な限り活動の偏りが出ないように心がけています。準備や振り返りも都度行っていますが、十分でないケースもありますので、プログラムの実施はもちろん、その前後も大切にしながら継続していきます。

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	75%	25%		集団活動は、職員間で意見を出し合い新たな取り組みの導入等ができています。個別活動は、利用者の好む活動に偏ってしまうこともある為、本人の意向を最大限尊重しつつも、様々な活動に目を向けられるような提案を行っています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	58%	42%		きめ細やかな課題の設定が難しいこともありますが、それぞれの時間・過ごし方の中でどのようなことができるのか日々検討しながら支援しています。
	14	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	50%	50%		計画の中で明確に位置づけされていないケースもありますが、状況に応じて個別・集団を意識して活動しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			毎日支援前ミーティングを行い、担当や特記事項等必要な情報を共有・確認してから支援に臨むようにしています。
	16	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	58%	42%		退勤時間はまちまちなので全職員が集まる形ではありませんが、毎日業務日誌を用い利用者の気になる言動や個々の気づき等を共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	83%	17%		マニュアルの見直しを行い、正しい記録がとれるように日々取り組んでいます。支援の検討や改善まで繋がらないケースもあるので、今後の課題として検討していきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	75%	25%		基本的にモニタリングは半年に一度実施しています。計画変更の必要性の有無等、時間をかけ丁寧にを行うようにしています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	50%	50%		ガイドラインの理解に差があり、事業所内で共有しながら理解を深めていく必要性を感じています。活動内容自体はガイドラインに沿ったものを提供しています。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にそのこどもの状況に精通したもともふさわしい者が参画しているか	100%			担当者会議には基本的に児童発達支援管理責任者が参加するようにしています。
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	83%	17%		連携は取れており、必要に応じて情報共有・連絡調整を行うことができます。	
22	医療的ケアが必要なこどもを受け入れる場合は、こどもの主治医等と連絡体制を整えているか	17%	66%	17%	主治医の情報は把握できていますが、基本的にはご家族を介してのやり取りとなっています。	
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		100%		現在の利用者は中高生のための為、就学前に利用していた機関との関わりはほとんどありません。必要に応じて情報共有できる体制は整えています。	

関係機関や保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		100%		市によっては専用のファイルがあるので、それらも活用しながら必要に応じて情報を提供できる体制を整えています。相談支援事業所との連携は密になってきています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		100%		必要に応じて児童発達支援センターと連携を取ることはありますが、十分とは言えません。より良い連携方法を検討していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		42%	58%	現状機会が持てておらず課題のひとつとして捉えています。後々は障がいのない子どもと交流する機会も持てるようにしたいと考えていますが、まずは様々な年代の方とふれあうことを優先にし、同法人の高齢利用者との定期交流をスタートさせています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100%			担当者を決め定期的に参加し、その場で得られた情報は職員間で共有しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			日頃からこまめに状況を共有することができています。今後も継続することで理解を深めていけるように努めます。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	25%	58%	17%	ペアレント・トレーニング等を行うまでには至っていませんが、保護者からの質問等には都度可能な限り回答するようにしています。今後専門性を向上させることで保護者の対応力も向上できるよう学びを深めていきます。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			基本的には契約時に細かく説明するようにしています。その他必要に応じて都度丁寧に対応しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	75%	25%		保護者が相談しやすい雰囲気・環境作りを心がけ、傾聴の姿勢で対応するようにしています。十分な助言に至らないこともあるので、スキルを向上させていけるように努めます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	67%	25%	8%	保護者会の開催はありませんが、保護者同士の繋がりの場として12月に大掃除兼懇親会を開催しました。今後も年に1～2回のペースで開催していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			これまで苦情が入るようなケースはほとんどありませんが、体制は整備されています。日頃から丁寧な対応を心がけています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			行事等はその都度お知らせを配布しています。活動内容は月に一度の事業所内広報誌の発行と不定期のブログにて報告する形を取っています。
	35	個人情報に十分に注意しているか	100%			個人情報の取り扱いには十分注意し対応しています。

	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	92%	8%		それぞれの特性や状態に合わせた個別対応がとれるよう配慮しています。今後もコミュニケーションスキルが向上できるよう取り組んでいきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	42%	50%	8%	事業所独自で地域に開かれた活動や行事を行うことはできていません。風の村さくら秋祭り等には参加し地域住民のみなさまと少しでもかかわれるようにしています。今後どのような場を創出していけるか検討していきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%			簡易的なものにとどまっていた防犯マニュアルの内容を事業所内で精査しマニュアル見直しと体制の強化に努めました。いずれの場面においても対応方法についてまとめた手紙を年度初めや流行時期に配布し周知しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			施設全体の訓練に加え、6月、11月の年2回事業所単位でも訓練を実施しています。必要な動きの確認や課題等が出ればその都度共有しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			虐待防止委員を決め、定期的に研修する機会を設け、対応を周知・徹底できるように努めています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			法人として指針を定めており、やむを得ず身体拘束を行う際には、保護者に了解を得た上でサービス計画に記載しています。
	42	発作・アレルギーのある子どもを受け入れる場合は、医師の指示等に基づく対応がなされているか	67%	25%	8%	基本的に医師の指示書はいただいていませんが、保護者からの情報に基づき対応しています。
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有しているか	100%			報告書を作成し全職員で回覧するとともに会議等の場でその都度共有し次に活かせるようにしています。

2019年度 事業者向け 放課後等デイサービス 自己評価表(あかとんぼ下根)

回収数/配布数: 10/12

回収率: 83%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	50%	40%	10%	利用者が多い時は活動場所が狭く感じる為、中庭に出て活動する等広いスペースを確保できるよう工夫しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	70%	30%		基準は満たしていますが、学校の下校時間によって変動するため職員同士でこまめに声を掛け合って連携しながら安全を確保しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		30%	70%	民家を借りての活動のため、段差や階段があります。階段に手すりを付けたり、活動しやすい環境作りに努めています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	70%	30%		会議の進め方が変わったことで、多くの職員が意見を出せるようになり、様々な意見が出ることで業務改善について全職員で考え実行できる環境になってきています。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			保護者からの意見等は真摯に受け止め、業務改善へ繋げられるよう努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	100%			法人ホームページにて公表しています。
	7	第三者による外部評価を行ない、評価結果を業務改善につなげているか			100%	外部評価の実施はしていませんが、法人内による点検を受け、指摘事項については改善しています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			事業所として月1回開催しています。また、外部研修の情報を共有し各々で参加しスキルアップを目指しています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	90%	10%		丁寧なアセスメントを心がけ、現状を把握・分析した上で計画に反映できるよう努めています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	70%	30%		統一したアセスメントシートを使用・活用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	70%	30%		職員間で意見を出し合い、チームとして立案に努めています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	80%	20%		活動が固定化しないよう1日活動に限らず、工作や調理などのイベントを組み込んでいます。

適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	50%	50%		日によって状況が異なり細やかな課題の設定が難しいこともあります、それぞれの時間・過ごし方の中でどのようなことができるのか日々検討しながら支援しています。
	14	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	70%	30%		計画の中で明確に位置づけされていないケースもありますが、状況に応じて個別・集団を意識して活動しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			毎日支援前にミーティングを行ない、流れや担当、特記事項等を共有しています。
	16	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	60%	30%	10%	業務日誌を用いて、利用者の気になる言動や個々の気づき等を共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			毎日正しく記録をとり、支援に繋がっています。個々の差がある為、日頃から支援を統一し成長に繋がるよう努めています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	90%	10%		モニタリングは半年に一度実施しています。計画変更の必要性の有無等、時間をかけて丁寧に行なうようにしています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	50%	50%		基本的に複数組み合わせ支援していますが、ガイドラインの理解には差があり、課題のひとつとして捉えています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にそのこどもの状況に精通したもつともふさわしい者が参画しているか	100%			状況に応じて、児童発達管理責任者・担当者等が参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%			学校により多少の差はありますが、基本的に連携は取れており、必要に応じて情報共有・連絡調整を行うことができます。
	22	医療的ケアが必要なこどもを受け入れる場合は、こどもの主治医等と連絡体制を整えているか	30%	40%	30%	現在該当者はいませんが、必要に応じて柔軟に対応できる体制は整えています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		100%		現在、就学前に利用していた事業所との定期的な情報共有の場はありませんが、必要に応じて共有できる体制は整えています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			100%	該当する機会があればそのように対応していきます。相談支援事業所との連携は密になってきています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		100%		まだ十分とは言えませんが、必要に応じて児童発達支援センターと連携を取るケースがあります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのないこどもと活動する機会があるか		50%	50%	どのようにすれば機会が持てるのか検討を進めていますが、現状はまだ機会が持てておらず課題の一つとして捉えています。

	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100%			担当者を決め定期的に参加し、その場で得られた情報は職員間で共有できるようにしています。
	28	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	80%	20%		日頃から共有するようにしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	20%	50%	30%	専門性を向上できるように努めていますが、事業所だけでは対応が難しい場合は、学校と連携を取り合い共有しながら対応しています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			契約時に細かく説明しています。その他、必要に応じてその都度丁寧に対応しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	80%	10%	10%	十分な助言に至らないケースもありますが、保護者が相談しやすい環境を作り、傾聴の姿勢での対応を心がけています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	80%	20%		年1回、保護者会を兼ねた大掃除を開催しています。
	33	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			体制は整備されており、ご意見を真摯に受け止めています。安心してご利用頂けるよう、丁寧な対応を心がけています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか	80%	10%	10%	広報誌やブログを活用し、日々の活動の報告を行なっています。
	35	個人情報に十分に注意しているか	100%			個人情報の取り扱いについては十分注意し対応しています。
	36	障がいのあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			個々に合わせたツールを用いるよう心がけています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	40%	50%	10%	事業所への招待は難しいですが、日頃から近隣の住民の方とあいさつ等のコミュニケーションを取っています。また、風の村さくら秋祭りに参加し地域住民の方との交流をしています。
非常時等	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	80%	20%		防犯マニュアルの内容を事業所内で精査しマニュアル見直しと体制の強化に努めました。いずれの場面においても対応方法についてまとめた手紙を年度初めや流行時期に配布し周知しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			年に2回避難訓練を実施しています。訓練の様子を文書化し、次回に活かせるようにしています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			虐待防止委員を選出し、定期的に研修する機会を設けています。

の 対 応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			やむを得ず身体拘束を行なう可能性のある場合には、事前に十分な説明・同意を得た上で行える体制は整えています。現時点では、計画書に記載するケースはありません。
	42	発作・アレルギーのある子どもを受け入れる場合は、医師の指示等に基づく対応がなされているか	80%	20%		アレルギーに関しては、その都度保護者や本人に確認を取り対応しています。
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有しているか	100%			報告書を作成し、全職員が閲覧できるようにしています。また、会議でも共有し全職員が周知できるよう努めています。

2019年度 事業者向け 放課後等デイサービス 自己評価表(あかとんぼ土淳)

回収数/配布数: 7/7

回収率: 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	86%	14%		利用人数が多いときには一箇所に集中しないよう庭や散歩等の活動を取り入れて対応しています。落ち着けるスペースも確保しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	100%			基準は満たしていますが、学校ごとの下校時間によって配置に変動があるため、こまめに職員間で声を掛け合い連携しながら安全を確保しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		43%	57%	民家を借りての活動のため玄関・トイレ等のバリアフリー化はされていません。必要に応じて職員間で話し合い活動しやすい環境作りに努めています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	86%	14%		少しずつ意識が変わってきており、多くの職員が業務改善への意見を出せる環境になってきています。引き続き、優先順位をつけながら、改善を進めていけるように努めます。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			毎年アンケートを実施しています。保護者の方の意向等を把握した上で検討をすすめ、2020年4月から毎週土曜日開所することになりました。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	100%			法人のホームページで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		100%		外部評価は実施していませんが、法人内同事業所の事業所による点検を受け、指摘事項については改善しています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			事業所としては月に1回の開催をしています。その他にも虐待防止委員会や研修ごとに担当を設置し参加しています。外部研修の情報も共有し、各々参加してスキルアップを目指しています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			丁寧なアセスメントを心がけ、現状を把握・分析した上で計画に反映できるよう努めています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	71%	29%		標準化されたアセスメントシートを使用していますが、ツールを活かしきれていないケースもあるので今後の課題として取り組んでいきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	57%	43%		職員間で意見を出し合い、チームとして立案に努めています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	57%	43%		利用者の特性をふまえ固定化しないように、過去の活動や多方面から情報を収集し検討しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	57%	43%		日によって状況が違うため、より明確なものを打ち出せるよう事前準備を充実させていきます。

適切な支援の提供	14	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			計画の中で明確に位置づけされていないケースもありますが、日々の利用者の状況に合わせて個別・集団を意識して活動しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	86%	14%		毎日支援前ミーティングを行い、流れや担当、特記事項等を共有しています。
	16	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	43%	57%		退勤時間が一定ではないため全職員が集まる形ではありませんが、業務日誌の活用や翌日に話し合いを行うことで、利用者の気になる言動や個々の気付き等を共有できるよう工夫しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	86%	14%		正しく記録をとれるよう取り組んでいますが、支援の検討や改善までつなぎきれていないのが現状です。今後の課題として取り組んでいきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			モニタリングは半年に一度実施しています。計画変更の必要性の有無等、時間をかけて丁寧に行うようしています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	71%	29%		ガイドラインの理解に差があり、日によってもバラつきがあります。会議・研修等でガイドラインの理解を深め、支援の幅を広げていきます。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にそのこどもの状況に精通したもつともふさわしい者が参画しているか	100%			状況に応じて、児童発達支援管理責任者・担当者などが参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%			連携は取れており、必要に応じて情報共有・連絡調整を行うことができます。
	22	医療的ケアが必要なこどもを受け入れる場合は、こどもの主治医等と連絡体制を整えているか	14%	86%		主治医の情報は把握できていますが、基本的にはご家族を介してのやり取りとなっています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		100%		全員分は行っていないのが現状です。今後情報共有に努めていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			100%	該当する機会があればそのように対応していきたいと思えます。相談支援事業所との連携は密になってきています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		100%		必要に応じて児童発達支援センターと連携を取ることはありますが、十分とは言えません。今後より良い連携方法を検討していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がないこどもと活動する機会があるか			100%	現状機会が持てておらず課題のひとつとして捉えています。どのようにすればかわる機会が持てるのかを検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100%			担当者を決め定期的に参加し、その場で得られた情報は職員間で共有できるようにしています。
28	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	71%	29%		日頃からこまめに共有するようしています。	

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	14%	57%	29%	事業所だけでは対応が難しい場合は、学校と連絡を取り合い共有しています。専門性を向上できるよう、学びを深めていきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			基本的には契約時に細かく説明するようにしています。その他必要に応じその都度丁寧に対応しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	86%	14%		保護者が相談しやすい雰囲気・環境作り・傾聴の姿勢での対応を心掛けています。十分な助言に至らないこともあるので、少しずつスキルを向上させていけるように努めていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			100%	保護者会の開催はありませんが、保護者同士の交流が持てる場を設けられるよう2020年度に向け検討しています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			体制は整備されており、ご意見を真摯に受け止めています。安心してご利用頂けるよう、丁寧な対応を心がけていきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			事業所内広報誌の発行やブログの更新を定期的に行っています。
	35	個人情報に十分に注意しているか	100%			個人情報の取り扱いには十分注意して対応しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			個々に合わせたツールを用いるよう心掛けています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	14%	14%	72%	事業所への招待は難しいですが、普段から様々な面で気にいただき良好な関係を築いています。また風の村さくらの秋祭りに参加し地域住民の方との交流をしています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%			毎年お手紙を配布しています。状況に合わせてマニュアルを見直し、より整備されたものを策定できるように努めていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			年2回避難訓練を実施しています。過去の訓練時の様子も踏まえ、内容や利用者へのアプローチを検討しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			虐待防止委員を選出し、定期的に研修する機会を設けています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			やむを得ず身体拘束を行う可能性のある場合には、事前に十分な説明・同意を得た上で行えるよう体制は整えています。現時点で計画書に記載するケースはありません。
	42	発作・アレルギーのある子どもを受け入れる場合は、医師の指示等に基づく対応がなされているか	57%	43%		現在指示書はいただいておりませんが、保護者からの相談等があればその都度対応します。
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有しているか	100%			報告書を作成し全職員で閲覧するとともに、会議の場で共有し次に活かせるようにしています。

2019年度 事業者向け 放課後等デイサービス・児童発達支援 自己評価表(あかとんぼ稲毛)

回収数/配布数: 10/12

回収率: 83%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	70%	30%		活動時、可能な限り室内を広く使用できるように、テーブルや車椅子を使用しない際、室内の端に移動しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	90%	10%		肢体不自由の方が多く、食事介助等が必要な場面も多いため基準よりも手厚く人員を配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	70%	30%		館内段差等はなく、トイレについても手すりやベンチシートを設置しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	40%	60%		夕礼や職場会議、個別支援計画の振り返り等の場において、改善点等の意見をスタッフから聞き、必要に応じて実施しています。実施後、経過を見て必要があれば再検討するという流れで運営しています。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			1年に1回利用者アンケートを実施することで保護者の意向を把握し、可能な限り意向に添えるよう努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	100%			ホームページ上に公表しており、1年に1回更新しています。
	7	第三者による外部評価を行ない、評価結果を業務改善につなげているか			100%	外部評価は実施していませんが、法人内の同事業の事業所による点検を受け、指摘事項については改善しています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	60%	40%		月1回の職場会議において研修時間を設けています。外部研修については、情報収集を行ないスタッフを派遣しています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	90%		10%	本人や保護者のニーズや課題について、送迎時や面談等でお話を伺い、そうしたものを基にサービス計画の作成を行なっています。アセスメントについては、日常生活動作の自立度を確認する項目が多いので活動面での項目をより充実させていくことが課題です。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	30%	60%	10%	アセスメントツールはありますが、ツールの改善が必要です。法人内の他事業所と相談しながら改善に取り組みます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	30%	60%	10%	プログラム立案に特化した話し合いの場はありませんが、朝礼や夕礼、職場会議等の機会においてスタッフ間で意見交換をしています。

適切な支援の提供

12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	30%	60%	10%	活動がマンネリ化しないよう朝礼や夕礼、職場会議等において出されたアイデアを実践しています。実践したのものについては、朝礼・夕礼において振り返りを行なっています。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	20%	60%	20%	朝礼実施の可能な平日は、個々の利用者に対する支援上のポイントや全体としてどう過ごすかということの詳細を確認し合って活動しています。休日や長期休暇については、前日に確認しあうことがありますが、十分ではないので工夫して行ないます。
14	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	50%	50%		どちらかという個別活動の比率が高いので、みんなで音楽を用いて歌ったり体を動かす活動をより充実していきます。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	90%	10%		朝礼において活動内容や個々の利用者の支援上のポイントを共有しています。また安全上配慮すべき点についての確認等も行なっています。
16	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	90%	10%		夕礼において、個々のスタッフに活動にて気づいたことや感じたことを順番に発表してもらっています。その中で共有すべきことについては、業務日誌に記録しスタッフ全員が把握できるようにしています。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	60%	40%		私見ではなく事実を記録すること等、記録を行う上での留意点について入職時に研修を行なっています。必要に応じて支援の振り返りをしたり、時にはそれを現在の支援に生かすようにしています。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	40%	60%		最低でも半年に一度はモニタリングを行なっています。朝礼前にモニタリングを行うための時間を設け、振り返り及び次期に向けての目標などについて話し合っています。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	30%	60%	10%	ガイドラインの内容に沿った活動を行なっていますが、スタッフに十分に浸透していないので、職場会議等の場を利用しながら適宜行ないます。
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にそのこどもの状況に精通したもつともふさわしい者が参画しているか	100%			基本的に児童発達支援管理責任者が参加しています。
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	90%	10%		送迎時や学校公開の場において行なっています。
22	医療的ケアが必要なこどもを受け入れる場合は、こどもの主治医等と連絡体制を整えているか	30%	60%	10%	医療的ケアが必要な利用者の受入れは行なっていません。
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%			今後の支援に生かすために活動内容や様子について情報をいただいています。

関係機関や保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		100%		問合わせがあれば、情報提供するというスタンスで対応しています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		100%		児童発達支援センターとの連携は行なっていませんが、発達障害者支援センターについては、毎年ではありませんが、これまで研修を依頼したことが何度かあります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		40%	60%	地域の公園や図書館に外出する機会はありますが、毎回交流機会があるわけではないので、限られた中で積極的に行ないます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			100%	参加できていないため、機を見て参加します。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	80%	20%		送迎時や連絡ノート、面談等により情報共有しています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	10%	40%	50%	トレーニング等の機会を持つてはいいませんが、保護者からの質問等については可能な限り回答しています。研修等にてスタッフの資質の向上を図る中で、より多くの質問等に対応できるようにします。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			契約時に重要事項説明書等を用いながら説明を行なっています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	40%	50%	10%	送迎時や面談時にそのようなお話があれば対応させていただいています。内容によっては相談支援事業所との連携等も考えております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	20%	60%	20%	今年度家族交流会を企画しましたが、参加者がほとんど集まらなかったため、開催を見送りました。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	50%	40%	10%	契約時に重要事項説明書を用いながら苦情窓口の案内を行なっています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	40%	50%	10%	2019年度末より広報誌を発行しています。
	35	個人情報に十分に注意しているか	90%	10%		個人情報に記載されている物については、施錠可能な場所に保管しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	70%	30%		必要に応じ文字盤や絵、簡単な手話・ジェスチャー等を用いてコミュニケーションを行なっています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	30%	40%	30%	事業所単体では行なっていませんが、複合施設としてサロンや地域食堂等の活動を行なっています。
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	80%	20%		状況毎の対応方法について、年度初めや流行時期にお手紙を配布しています。	

非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	90%	10%		年に2回避難訓練を行なっています。複合施設であるため、事業所の垣根を越えた連携を意識して取り組んでいます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	60%	40%		法人全体として権利擁護の内部研修を行ったり、県の社会福祉協議会実施の虐待防止研修にスタッフが参加しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			法人として指針を定めており、やむを得ず身体拘束を行う際には、保護者に了解を得た上でサービス計画に記載しています。
	42	発作・アレルギーのある子どもを受け入れる場合は、医師の指示等に基づく対応がなされているか	70%	30%		指示書はいただいていませんが、保護者からの情報に基づいて対応しています。
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有しているか	60%	40%		朝礼及び夕礼にて共有しています。当日出勤のないスタッフに対しては業務日誌にて周知しています。

2019年度 事業者向け 放課後等デイサービス 自己評価表(あかとんぼ作草部)

回収数/配布数: 7/10

回収率: 70%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	72%	28%		室内空間が手狭ではありますが、必要に応じて車椅子を外に出すなど工夫をしています。和室を活動スペースとして有効活用して、適切な空間を保てるようにします。
	2	職員の配置数は適切であるか	57%	43%		通常よりも手厚い配置で支援していますが、看護師と介護・保育職のバランス、必要な支援度のバランスがうまく取れない日があるため、可能な限りバランスのとれた配置となるようにします。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%			建物はすべてバリアフリーとなっています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	72%	28%		基本的にはできています。今後も勤務日数の少ない職員も参画しやすいよう工夫します。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			実施しています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	100%			ホームページ上に公表しています。
	7	第三者による外部評価を行ない、評価結果を業務改善につなげているか			100%	外部評価は行なっていませんが、法人内部の自主監査を受け、必要に応じて業務改善につなげています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	57%	43%		外部研修情報の収集に努め、全職員が年1回は参加できるようなシステムを検討します。
適切な 支援の 提	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	86%	14%		期中での計画変更が課題です。必要時に計画変更できるようにします。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	86%	14%		アセスメントツールはありますが、ツールの改善が必要です。法人内の他事業所と相談しながら改善に取り組めます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	72%	28%		担当者が計画、詳細検討は別職員、それに対して他職員からのアイデアを反映させて計画を膨らませています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	86%	14%		計画的な活動が行なえるようになりましたので、今後も継続します。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	14%	86%		課題設定は平日・休日・長期休暇によっては設定していませんが、長期休暇中は身体を整える活動を取り入れています。今後は長期休業中の遊び支援に力を入れます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	86%	14%		本人の課題を考えながら、必要に応じて個別活動と集団活動を組み合わせ計画作成・支援しています。

児 供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	86%	14%		行なえています。今後は限られた朝礼時間の中で、当日の支援に関する情報をより共有できるよう工夫します。
	16	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	57%	43%		夕礼に参加できない職員が複数いるため、気づいた点を現場に還元できる方法を模索します。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	86%	14%		基本はできていますが、記録の研修を継続実施します。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	72%	28%		全職員参加の計画検証、ご家族からの意見を反映させて計画の見直しを行なっています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	57%	43%		複数組み合わせられてはいますが、長期休業中の活動に課題があるため、次年度の課題として取り組みます。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にそのこどもの状況に精通したもつともふさわしい者が参画しているか	100%			必要に応じて児童発達支援管理責任者、看護師などが対応しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	86%	14%		基本的にはできています。
	22	医療的ケアが必要なこどもを受け入れる場合は、こどもの主治医等と連絡体制を整えているか	28%	72%		主治医との連絡体制は、必要に応じてご家族を介して整えています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			100%	対象者はいましたが、実施していません。次年度は改善します。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			100%	要請があった場合には対応します。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			100%	該当する機会があればそのように対応します。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのないこどもと活動する機会があるか	72%	28%		地域のこどもとイベント等を通じて交流しています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			100%	参加できていないため、機を見て参加します。
	28	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	72%	28%		送迎時にお会いした際に情報交換し合っています。
保 護 者 へ	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	28%	58%	14%	送迎時など、質問をいただいた際には随時対応しています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			契約時に実施しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	72%	28%		送迎時など、質問をいただいた際には随時対応しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	72%	28%		年1回ですが、家族交流会を開催しています。
	33	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			対応していますが、どのような苦情があり、どのように対応しているのか知りたいご家族がいるため、次年度は対応について検討します。

の 説 明 責 任 等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			毎月発行しています。
	35	個人情報に十分に注意しているか	100%			個人情報の扱いには特に注意しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	57%	43%		基本的には行なっていますが、特に各利用者の意思を汲み取ることができるよう、更に工夫を重ねる必要があるため、研修等で知識を得ながら、ご家族や学校と足並みを揃えて取り組みます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	86%	14%		年に1～2回はできていますが、機会を増やし、開かれた事業所運営を目指します。
非 常 時 等 の 対 応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%			毎年お手紙を配布しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			火災・地震時の避難訓練は年2回、防犯訓練は年1回実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	86%	14%		毎年1名、外部研修に参加いただくほか、法人内で開催されている研修には全員が参加しています。また、拠点内の虐待防止委員会でも、不適切ケア撲滅に向けての取り組みを行なっています。今後は更に、事例検討などで、自事業所の具体的なケアをイメージできる研修を取り入れます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			対象となる方については、事前にご家族に説明の上、計画に記載しています。
	42	発作・アレルギーのある子どもを受け入れる場合は、医師の指示等に基づく対応がなされているか	72%	28%		指示書はいただいいてませんが、ご家族からの情報に基づいて対応しています。
43	ヒヤリハットを事業所内で共有しているか	72%	28%		共有していますが、軽微なヒヤリハットは対策検討までできていないケースもあります。事故を未然に防ぐためにも、ヒヤリハットに対する対策検討を徹底します。	